

介護改善 3 本柱

① 介護報酬の大幅引き上げ

(2027年4月は介護報酬の本改定、年末までのたたかいが重要)

② 抜本的な介護人材の確保

(深刻な介護人材不足、月額8.2万円も低い介護職員の給与改善)

③ 介護 3 大改悪の阻止

(2割負担対象拡大、ケアプラン有料化、介護サービスの規制緩和)



介護改善行動 6 つの柱

① 請願行動に集中する

② 大規模宣伝に打って出る

③ 厚労省（審議会）を包囲する

④ 自治体に介護要求を届ける

⑤ 学びを力に学習運動を強化する

⑥ 介護改善大運動の共同を広げる



①請願行動に集中する

1. 新介護署名 8月～10月の集中
(目標50万筆、この秋に25万筆の署名提出を目指そう)
2. 全地方議会に請願・陳情提出
(訪問介護報酬の引下げ撤回は全国347地方議会で意見書採択)
3. 全国会議員から紹介議員獲得
(介護署名2025は野党中心に紹介議員60名 さらに増やそう)
4. 秋の臨時国会で署名を提出



②大規模宣伝に打って出る

1. 横断幕など、目に見える宣伝
2. 25日を軸に精力的な街頭宣伝を
3. SNSを積極的に活用し発信を



③厚労省（審議会）を包囲する

1. 全国から介護現場の声を集める
2. 審議会に介護現場の声を届ける
(厚労省社会保障審議会・介護保険部会に現場の声を反映)
3. 国に介護3大改悪の断念を迫る
(秋に介護署名提出集会と厚労省要請行動を予定)



④自治体に介護要求を届ける

1. 第10期介護保険計画を把握する
(2027年4月～2030年3月 3か年)
2. 自治体に介護の要求を届ける
(自治体キャラバンなど、介護現場の要求を届けよう)
3. 自治体に介護の独自支援を迫る
(訪問介護への独自支援、介護保険料の引き下げなど)



講演会&シンポジウム

いま、地域は どうなっているか

他人事でない
未来に向けて
正しく知ろう!

今、時代は激しく動いています。日々のニュースでは、イラン情勢をはじめガザでの惨状の惨状。そして、終わらないロシアによるウクライナ侵襲など。まさに「戦争が平和」が問われる事態が続いています。また、グローバルな国際社会においてエネルギーや食料危機が全世界を不安と混乱に陥れています。一方、国内では格差・貧困の問題。それに加えて所得は低減し、格差は拡大を続け、私たちの命と暮らしは大変厳しい状況に陥っています。

私ども、守ろう！介護保険制度・市民の会は生活の基盤となる社会保障制度について、特に介護保険制度の充実とよりよい制度への発展を願い活動を開始し、多くの方々と議論を重ね、「これ以上の制度改悪は許さない」という立場で取り組みを進めてまいりました。

この度、下記の要項にて「講演会&シンポジウム」を開催を準備しております。もう一度、私たちの足元を見つめ、地域社会での大きな課題となっている「孤立・孤独」ということを考えながら、介護・福祉を見つめてみたいと思います。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

会場 参加費 500円

2026年
日時 **8/29 土**
14時～16時30分(開場13時30分)

会場 **池袋ISPタビル8F
日本労協連 会議室**
〒117-0013 東京都豊島区池袋1-4-3

第1部 講演会 14:00～15:00
いま、地域社会での「孤立」を考える
〈講師〉石田 光規 氏
(早稲田大学 文学部助教授)

第2部 シンポジウム 15:00～16:30
孤立・孤独、そして介護・福祉を考える
■パネリスト
本間 美紀子 氏 (株式会社ラジカルコーポレーション)
竹田 静子 氏 (ワークスコープ)
小島 美里 氏 (りやうせふしネットス)
■コーディネーター
鈴木 穂 氏 (東京新聞 読者委員)

守ろう！介護保険制度・市民の会 主催

11月11日は「いい介護の日」

第16回 介護・認知症 なんでも無料電話相談

2026年11月11日(水)10時～17時

0120-110-458

介護・認知症なんでも無料電話相談には、介護の専門家が対応します。プライバシーは厳守します。

ひとりでは抱え込まないで
相談することで心が軽くなる

中央社会保険推進協議会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働
TEL 03-5808-5844 FAX 03-5808-5341
e-mail: k25shahokyo.jp ※メールでの相談は中央社保協代表メ
取り扱い団体

案

介護する人・受ける人が
ともに大切にされる
介護保険制度の実現へ
全国の仲間と声をあげよう